

広報 だんち

2019
12月号

NO. 455

(協) 焼津水産加工
センター 発行
焼津市惣右工門1280番地の2
編集・総務係
発行・令和元年12月20日
TEL・054-624-2111
FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp/>

12月団地の言葉

「声かけて職場の仲間へ 第二の家族」

今年（今年も？）暖冬なのか、本格的な寒さを感じる前に気付けば12月も中旬を過ぎてしまい「年末まで残り何日・・・」とカウントダウンをしている方も多いのではないのでしょうか？

年末年始の休暇を一杯エンジョイしたければ「今年は何もやり残した事が無い」と自信を持って言えるくらい普段以上に業務に邁進したいものです。

今年は何年開催している組合の恒例行事である「歳末謝恩即売会」を中止する事になり、毎年この時期には準備で慌ただしく動いていた筆者にしてみれば、若干余裕を持って本来業務に従事出来ている様に思います。

さて、毎年この時期には同じ問い掛けをしている様に思いますが、皆様にとって今年はどうな一年だったのでしょうか？

筆者はバタバタと慌ただしく、あつと言

う間に一年が過ぎ去ってしまった様に感じます。

ただ、初めて経験する事や初めて訪れた場所の事を思い返すと慌ただしくも非常に充実していた一年だと自信を持って言えると自負しています。

特に印象に残っているのは実習生の面接で初めて訪れたミヤンマーの事でしょうか。

7月下旬に面接で訪問しましたが、実習生達の出身地を自身の目で見れた事は大きな収穫だったと思います。

また、この紙面でも何度か触れましたがドローン検定を受けた事も自信に繋がりました。こちらは1月下旬から毎週の様焼津市の防災部局による訓練を受け、8月の盆休み期間に検定を受けました。結局、自分でもドローンを購入し、ツーリングに行く時にはバッグに入れて持ち歩くほどのめり込んでいます。先日、焼津市のドローン隊の隊長を引き受けたので、来年は公私ともにフライトさせる機会が増えると思いません。

そろそろテレビや雑誌では「今年の10大ニュース」なる特集が組まれる頃ですが、筆者にとっては私達の生活や業務に直結する「消費増税」だったと思います。経理という仕事をする上では、やはり消費税について関心が高く税務署などが開催した説明会に足を運んだりしましたし、組合員の経理担当者として軽減税率について協議をした覚えがあります。

また元号が「平成」から「令和」になり、改元に伴う「便乗ビジネス」的な話題にもこの紙面で触れた覚えがあります。

本誌を読んでいる皆さんの「今年の10大ニュース」はどんなだったでしょうか？来年も充実した一年を過ごせる事を願います。

今月の団地の言葉はマルヨシさんの作品です。

今月の紙面

P 2 12月の定例役員会／中間決算監査を実施／41期生帰国／実習受入企業協議会を実施

P 3 県実習生受入組合連絡会の視察行われる／当組合市川参事全国中央会会長表彰を受賞／夢逸品市場に出店

P 4 カツオ情報

1月組合行事予定

1月14日（火）

定例役員会

1月の暦

1月1日（水）

元旦

1月13日（月）

成人の日

◆12月の定例役員会◆

去る12月9日に、12月度定例役員会が開催されました。

1 中間決算報告と監事会（中間決算監査）報告の件

中間決算の数値がこのほどまとまり、事務局より役員へ報告された。総体的には前年同期比で増収減益となり、対計画比では売上は未達であったが、事業利益、税前利益ともに計画達成。前期比で減益となった理由としては、費用増が要因であり、排水部門において高濃度排水への対処から消耗品等の各種費用が軒並み増加傾向である。

12月2日に行われた監事会は、この中間決算数値を基に、会計監査と業務監査（詳細は別紙記事にて）が行われた。出席役員からは、監事指摘事項に加えて、人事採用に関する体制の再構築などの意見が付けられ、承認された。

2 台風被害対策の補助事業活用について

静岡県より「水産業振興事業（水産業共同施設整備事業）」について、一般の台風被害への支援対応とする案内が寄せられ、当組合より排水施設及び給水施設の改善工事について実施したい旨を説明、承認された。

3 連絡・報告事項

「実習生受入事業関連の報告事項」「人事採用関連の報告事項」ほか4項目、計6項目について承認された。

◆中間決算監査を実施◆

12月2日（月）、石村代表監事・田村監事により加工センターとマリンセンターの中間決算監査が行われました。

午前中は市川参事・水野事務局長・長谷川部長立ち会いのもと、上期の概況報告と会計監査を、午後は小泉部長・今井次長・法月次長の3名も同席し業務監査を実施しました。

監事所見及び講評として「組合・マリン共に数値的には及第点のレベルであるが、いくつかの課題が確認された」①「人事採用について」②「浸水被害について」③「排水汚泥肥料について」④「環境整備について」といった組合役職員一丸となって取り組むべき課題に対して指摘がございました。監事会の結果は12月9日（月）開催の定例役員会にて改めて報告されました。

◆41期生終了式◆

41期生8名は3年実習終了で12月16日に終了式を行いました。

ミヤンマーより第5期生として来日したのは3年前の12月20日です。当初、一緒に来たのは12名で、残念ながら3名は途中で行方不明で、1名は来日後すぐ帰国しました。

今回帰国する8名の内6名は技能実習3号として再度来日することとなり、引き続き2年間実習活動を従事する予定です。

監理団体が主催した終了式で、村松労務

対策委員長より、8人の活躍に感謝し、日本で覚えたことを母国へ帰ったら周りに伝えもらい、8人の再来日をお待ちすると挨拶しました。市川参事より、

日本の特定技能制度を説明し、真面目にやる人は日本の企業は大歓迎で次の来日後、引き続き大活躍することを楽しみにするとの期待の言葉をおくりました。8名は18日朝、中部国際空港より北京経由でミヤンマーへ帰る予定です。

◆受入企業協議会を

実施◆

12月3日、全実習生受入れ企業の実習責任者13人が参加する協議会を開きました。

今年は、失踪者が7名ほど出ました。若い実習生達が嘘の誘惑を簡単に信じて逃げたと分析しております。情報共有のため、実習責任者が意見を交換しながら、対策を検討しました。

地方と都市の賃金格差がその誘惑の一因



かもしれないですが、不法滞在になると如何に危険なことをかを実習生指導員、生活指導員は普段から伝えることが大事で、それには信頼関係を作る以外に方法はないと共通認識をしました。監理団体としては、送り出し機関を増やし、焼肉大会、花見大会などを開き、特定技能制度の利用を支援することを計画しており、どうしても実習生が邪道に入らないように努力尽くす決意をしました。

年内には、来年4月卒業の2号生に特定技能制動利用する意思を確認し、その手続きの第一歩を踏み切ります。

また、実習生全員を集まり、失踪の利害関係を説明することを決めました。

◆県実習生受入組合連絡会の視察行われる◆

静岡県中小企業団体中央会を事務局として、県下9協同組合を構成員とする「静岡県外国人技能実習生受入組合連絡会」の令和元年度視察研修として、11月29日（金）午後、当組合にて開催されました。

同連絡会は、その名の通り技能実習生を受け入れる監理団体である協同組合が、指導団体である中央会の



ネットワークを活用した情報交換を行い、よりよい受入体制を相互に構築し発展していくことが目的であります。当組合も加入をしておりますが、今回は連絡会の視察研修として当組合を視察先として、事業構築の経緯や各種事例を話し、参加組合との相違点など意見交換をいたしました。

◆当組合市川参事全国中央会会長表彰を受賞◆

全国中小企業団体中央会で、このほど中小企業等協同組合法施行70周年、中小企業団体法施行60周年を記念し、運営が優良で範となる117優良組合、発展に寄与した功績が顕著な組合等功勞者181名に対して表彰が行われました。併せて、長きにわたり組合に貢献した専従職員409名に対して全国中央会会長表彰がなされました。

静岡県からも、2団体1個人に大臣表彰が為されたほか8団体4名が優良組合、組合等功勞者として表彰されました。また専従職員への会長表彰については本県から10名が受賞し、当組合の市川保参事が、組合専従優良職員 全国中小企業団体中央会会長表彰 中小企業等協同組合法施行70周年の部にて表彰を受けました。



市川参事は、「まだまだこれで終わりにじゃない。組合として、団地として、地域として実になることをもって追求していきたい」と話しました。

◆夢逸品市場に出店◆

令和初！そして20回となる記念すべき節目を迎えた「市長対抗駅伝」が、1月30日静岡市で開催されました。

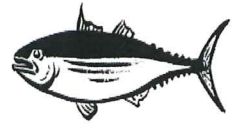
すっかり冬の風物詩となったこの大会、地元の期待を背負った選手たちは、午前10時に県庁本館前をスタートし、ゴール地点の草薙陸上競技場を目指します。

そして、草薙陸上競技場前では、毎年恒例の「夢逸品市場」も開催されました。

会場には、各市町のテントがズラリと並び、県内のグルメや特産品が勢揃いします。焼津市のブースでは、しらす・桜エビ・中トロ丼など。

組合業務課では、佃煮・フィッシュカールシウムなどの団地製品を販売しました。前日の凍えるような寒さとは打って変わり、暑いくらいの好天となり、一般のお客様に加え、駅伝選手や関係者の方たちも会場を訪れ大変賑わっていました。





カツオ

§ 2019年(1~10月月計)の輸出入

※輸出はFOB価額、輸入はCIF価額

※財務省貿易統計データより

<輸出>		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タイ	イ	18,960	2,548,890	27,491	4,433,428
フィリピン		1,457	250,174	734	133,094
インドネシア		1,024	136,617	1,051	185,869
計		22,246	3,063,538	30,891	5,034,921

<輸入>		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア		25,630	3,834,037	15,296	2,652,237
ベリーズ		735	104,480	1,827	237,889
ブルネイ		578	67,644	130	15,774
計		28,052	4,179,653	22,750	3,673,252

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

東京市場ドル円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年 高値	113.18	110.29	106.99	109.49	111.39	110.90	113.14	112.15	113.67	113.34	114.21	113.82
安値	108.51	105.55	104.64	105.70	108.36	108.73	110.27	109.78	110.39	111.69	112.40	110.00
月末仲値	108.79	107.37	106.24	109.35	108.70	110.54	111.01	111.06	113.57	113.26	113.47	111.00
2019年 高値	109.87	111.13	112.01	112.24	110.85	108.70	108.99	109.32	108.47	109.07	109.60	
安値	107.52	108.73	109.70	110.88	109.15	106.78	107.22	104.46	105.83	106.69	107.89	
月末仲値	108.96	110.87	110.36	112.28	109.57	107.79	108.64	106.46	107.92	108.88	109.56	

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年(単位:t)	24,786	23,733	22,475	24,152	26,527	24,516	26,186	28,293	26,559	27,422			254,649

情報

§ 国内主要漁港市場の水揚 (2019年1~10月計)

※水産庁統計データ
産地水産物流通統計より

<生カツオ>	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	39,225	296 円	43,128	299 円	91%	99%
<冷カツオ>	168,222	170 円	172,943	193 円	97%	88%
<カツオ合計>	207,447	194 円	216,071	214 円	96%	91%

§ 焼津水揚 (2019年1~11月累計)

※焼津漁業協同組合統計データ
取扱高対比表より

<1本釣カツオ>	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	12,561	223 円	15,942	237 円	79%	94%
<巻網カツオ>	71,938	143 円	74,184	167 円	97%	86%
<カツオ合計>	84,499	155 円	90,126	179 円	94%	87%

「通電火災を防ごう」

災害の後で停電が復旧すると、火災が発生することがあります。

原因になる物(例) ⇒ ・白熱電球・電気ストーブ
・オーブンレンジ 等

通電火災を防ぐためには？

★停電中

電気機器のスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

★自宅を離れる際

留守中の発火を防ぐために、ブレーカーを落としてから外出する。

★電気供給再開時

・電気機器や配線・コードが破損していないか。
・燃えやすいものが近くにないか 等

十分に安全を確認してから電気機器を使用する。

今月の1枚



犬山城

